



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社
 コード番号 9790 URL <https://www.fukuicompu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 橋本 彰 (TEL) 0776-53-9200
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,144	△4.9	4,188	△13.4	4,235	△12.9	2,868	△11.1
2022年3月期第3四半期	10,670	11.6	4,834	18.7	4,864	18.4	3,227	17.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,960百万円(△6.6%) 2022年3月期第3四半期 3,169百万円(6.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	138.76	ー
2022年3月期第3四半期	156.13	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	24,567	20,683	84.2
2022年3月期	24,593	18,963	77.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 20,683百万円 2022年3月期 18,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	0.00	ー	60.00	60.00
2023年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2023年3月期(予想)	ー	ー	ー	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,620	△5.0	5,490	△13.1	5,540	△12.9	3,640	△13.8	176.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	20,700,000株	2022年3月期	20,700,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	24,790株	2022年3月期	24,719株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	20,675,243株	2022年3月期3Q	20,675,295株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び連結子会社）における当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高10,144百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益4,188百万円（前年同期比13.4%減）、経常利益4,235百万円（前年同期比12.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,868百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①建築システム事業

建築システム事業の売上高は4,527百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益は1,567百万円（前年同期比15.7%減）で減収減益となりました。当第3四半期連結累計期間は、同セグメントにおきまして主に保守サービス及び3Dカタログサイトの継続取引社数が堅調に推移するなど、ストックビジネスは伸長した一方で、主要事業である住宅事業において、昨今IT導入補助金により売上は牽引されてきましたがIT導入補助金の制度変更により採択件数が減少し、今年度は売上への寄与は限定的でありました。結果、製品販売が伸び悩み前年同期比減収にて推移いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限を緩和し、営業活動を再開したことで旅費及び展示会費等が増加し、前年同期比減益となりました。

②測量土木システム事業

測量土木システム事業の売上高は5,180百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は2,461百万円（前年同期比3.7%減）となりました。測量土木システム事業におきましては、国の施策であるi-Constructionへの移行は今もなお継続しており、IT導入補助金が売上増加に寄与してきました。しかしながら、昨年度と比較し今年度はIT導入補助金の制度変更により採択件数が減少し売上高への寄与は限定的で製品販売が伸び悩みましたが、主に保守サービス等のストックビジネスは順調に推移しました。結果、売上は前年同期比概ね同水準となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限を緩和し、営業活動を再開したことで旅費及び展示会費、販促関連費等が増加した結果、前年同期比減益となりました。

③ITソリューション事業

ITソリューション事業の売上高は436百万円（前年同期比36.5%減）、営業利益は208百万円（前年同期比29.0%減）と前年同期比で減収減益となりました。昨年度は2021年10月に行われた衆議院選挙の出口調査システムにかかわる大口の売上を計上しており、今年度は2022年7月の参議院選挙にかかわる売上を計上しておりますが衆議院選挙に比べ売上規模が小規模である為、減収減益となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は24,567百万円となり、前連結会計年度末より25百万円減少しました。主な要因は、現金預金及び売上債権の減少、投資有価証券の増加によるものであります。

負債合計は3,884百万円となり、前連結会計年度末より1,745百万円減少しました。主な要因は、未払法人税等及び賞与引当金の減少によるものであります。

純資産は20,683百万円となり、前連結会計年度末より1,719百万円増加しました。これに伴い、自己資本比率は84.2%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月11日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,027	16,700
受取手形	447	358
売掛金	1,529	1,277
商品及び製品	46	43
仕掛品	4	24
原材料及び貯蔵品	5	5
その他	730	1,061
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	19,787	19,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,127	1,085
土地	1,153	1,153
その他（純額）	111	79
有形固定資産合計	2,392	2,318
無形固定資産	228	188
投資その他の資産		
投資有価証券	1,350	1,983
繰延税金資産	508	234
その他	330	379
貸倒引当金	△4	△6
投資その他の資産合計	2,184	2,591
固定資産合計	4,805	5,099
資産合計	24,593	24,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61	48
未払法人税等	1,366	45
前受金	2,273	2,385
賞与引当金	759	297
役員賞与引当金	46	48
その他	981	878
流動負債合計	5,489	3,704
固定負債		
繰延税金負債	140	180
固定負債合計	140	180
負債合計	5,629	3,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	1,500	1,500
利益剰余金	15,406	17,035
自己株式	△59	△59
株主資本合計	18,478	20,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	484	576
その他の包括利益累計額合計	484	576
純資産合計	18,963	20,683
負債純資産合計	24,593	24,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	10,670	10,144
売上原価	2,350	2,141
売上総利益	8,320	8,003
販売費及び一般管理費	3,485	3,815
営業利益	4,834	4,188
営業外収益		
受取配当金	24	37
受取手数料	5	6
その他	5	4
営業外収益合計	35	47
営業外費用		
投資有価証券評価損	5	—
営業外費用合計	5	—
経常利益	4,864	4,235
税金等調整前四半期純利益	4,864	4,235
法人税、住民税及び事業税	1,531	1,094
法人税等調整額	105	271
法人税等合計	1,636	1,366
四半期純利益	3,227	2,868
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,227	2,868

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,227	2,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	91
その他の包括利益合計	△58	91
四半期包括利益	3,169	2,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,169	2,960
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築システム 事業	測量土木 システム事業	I Tソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,775	5,208	687	10,670	—	10,670
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,775	5,208	687	10,670	—	10,670
セグメント利益	1,859	2,557	293	4,710	123	4,834

(注) 1. セグメント利益の調整額123百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築システム 事業	測量土木 システム事業	I Tソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,527	5,180	436	10,144	—	10,144
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,527	5,180	436	10,144	—	10,144
セグメント利益	1,567	2,461	208	4,237	△49	4,188

(注) 1. セグメント利益の調整額△49百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。